

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ】 U&I ときめき課 ☎773-6659

南魚沼市で輝くひと（第21回） チームこのめ

今回は、市内で活動する「このめ」を紹介します。

「このめ」は、六日町高校出身で現役大学生の山本あいさん、濱野郁美さん、林祐磨さんと、市内で働く栗生恭輔さんの4人が主体となり活動するチームです。

南魚沼愛あふれるメンバーが自らも学びながら、地域の魅力を地元の中学生・高校生と一緒に考えたいという思いを胸に「ここに、帰りたくなるまちづくり」に取り組んでいる団体です。少子高齢化が進む今、このままだと大好きな南魚沼がなくなってしまうのではないかと考え、「人」や「地域」の魅力を確認するイベントや、InstagramなどのSNS（ソーシャルネットワークサービス）を使った大学生ならではの情報発信を行っています。



メンバー自身も、県外の大学での生活を通して、南魚沼の食べ物や水がおいしいことや、温かい人柄で面倒見がよい人が多いことなどに魅力を感じています。このような地域の魅力を地元の人が再認識できるようなイベントや、情報発信が今後もできるような仕組みづくりを進めていくことを目標としています。

「このめ」の活動の様子は、右のQRコードからFacebookをご覧ください。



南魚沼市若者定住促進ライフスタイルマガジン「LIFEin Vol.11」の紹介

「LIFEin」は、市にUターンした若者へのインタビュー記事や、リアルな暮らしや定住に役立つ情報を紹介し、「南魚沼に暮らすというしあわせ」を発信しています。

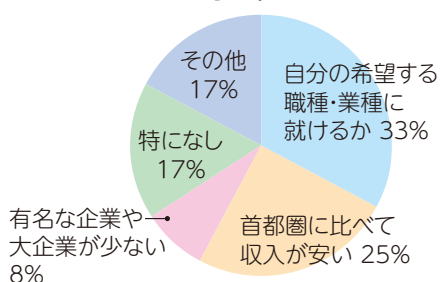
8月23日(金)に発刊した最新号Vol.11では、1ターンした2人を取材したほか、SUP（スタンドアップパドルボード）ツアーや北越急行株式会社運転士の技を紹介しています。

冊子は、市内の飲食店や首都圏の大学、U I J ターン関連機関などでご覧いただくか、右のQRコードからご覧ください。



若者のUターンに関するアンケート

Uターン時の悩みは？



8月9日(金)に運行した若者向け無料帰省バスで、利用者13人に行った「Uターンについて」の意識調査の結果を紹介します。

Uターン時の悩みは、「自分の希望する職種・業種に就けるか」や「首都圏に比べて収入が安い」ことがあげられました。

一方で、Uターンしたい理由として「南魚沼市の環境が好き」「家族や知人の近くに住みたい」という声がありました。

今回のアンケートの結果を、市内企業や南魚沼市まちづくり推進機構と共有し連携しながら、Uターンを考えている人に対してより有効な企業情報を発信していきたいと考えています。